



緊急避妊について

● 緊急避妊とは？

- 緊急避妊とは、避妊せずにセックスしてしまった場合や、コンドームが破けるなど避妊の失敗が起こった場合などに、妊娠を阻止する方法です。
- 「**緊急避妊ピル**」が一般的で、排卵～受精～着床を阻止して避妊効果を発揮します。妊娠してから服用しても効果はありません。
- 銅が付加された**子宮内避妊具 (IUD)** を用いることもあります。

● 緊急避妊ピルの服用方法

- **レボノルゲストレル錠**は緊急避妊専用の黄体ホルモン (プロゲスチン) 製剤です。
- セックスから**72時間** (最長120時間) 以内に1錠を服用します。72時間以上経過すると避妊効果が弱まりますので、IUDを併用したほうが良いかもしれません。

● 緊急避妊ピルの避妊効果と副作用

- 避妊効果は100%ではありません。妊娠阻止率は、セックスから24時間以内なら95%、48時間以内なら85%、72時間以内なら58%と報告されています。
- 服用後2時間以内に吐いてしまった場合は、できるだけ速やかに服用し直す必要があります。2時間以降に嘔吐した場合は心配ありません。
- 吐き気、嘔吐、めまい、頭痛、乳房の圧痛、下腹部痛などの副作用が10～20%で認められると報告されていますが、いずれも軽症で、24時間以内に治まります。

● 服用後の注意事項

- 緊急避妊ピル服用後のセックスに対しては、避妊効果がありません。今後も避妊を希望する場合は、緊急避妊ピルを服用した翌日から**低用量ピル**を開始することができます (最初の1週間は避妊効果がないのでコンドームなどの併用が必要です)。
- 服用後の月経は、80%以上は予定日の前後2日以内、95%は予定日から7日後までに始まります。月経が7日以上遅れた場合には、妊娠検査を受けなくてはなりません。
- 緊急避妊ピルの効果は、服用後すぐにわかるわけではありません。不正性器出血や妊娠初期の出血を月経と区別できない場合もあります。
- 緊急避妊ピルを服用したにもかかわらず妊娠してしまった場合、生まれた赤ちゃんに異常が増えることはありません。
- 緊急避妊では、性感染症を予防できません。性感染症が心配な場合は検査を受け、感染の予防についても相談してください。
- **現時点で妊娠を希望していない方には、緊急避妊をきっかけに低用量ピルや子宮内避妊器具など効果の高い避妊法を開始することをお勧めします。**